



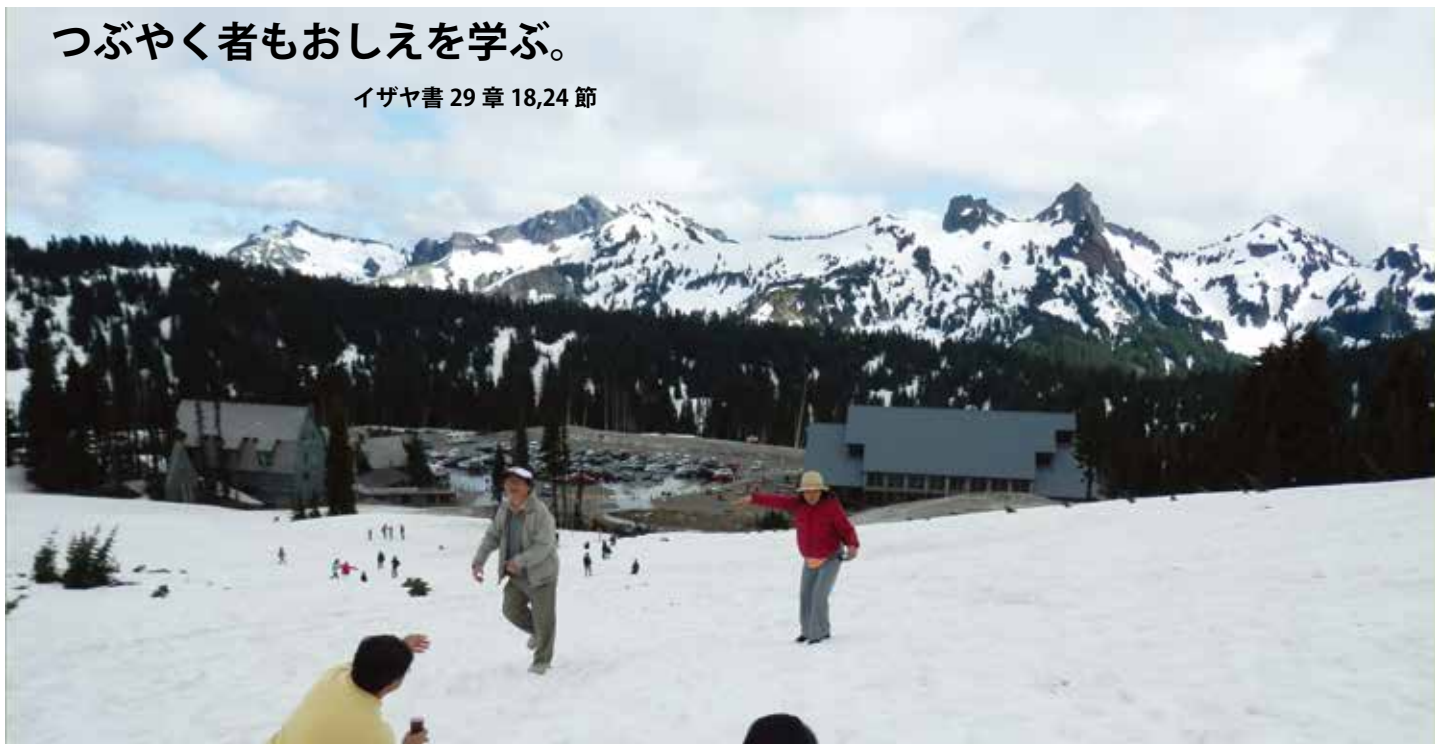
天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。

わたし、主は、
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。
イザヤ四十二章5、6節

この民の知恵ある者の知恵は滅び、
悟りある者の悟りは隠される。
その日、耳しいた者が書物のことばを聞き、
盲人の目が暗黒とやみの中から物を見る。
心の迷っている者は悟りを得、
つぶやく者もおしえを学ぶ。

イザヤ書 29 章 18,24 節

写真/レーニア山



創世記探訪ツアー報告

宇佐神 実

創世記探訪ツアー報告 (4)

セントヘレンズ山と レーニア山

セントヘレンズ山の噴火

ツアーの最終目的地は、セントヘレンズ山。20世紀の地質学会に衝撃をもたらした場所です。

1980年5月18日日曜日、現地時間が午前8時過ぎにワシントン州南部に

あるセントヘレンズ山が噴火しました。噴火の数ヶ月前から火山活動が活発化し、山壁が盛り上がるなど噴火の予兆を呈していたので、地質学者たちは、火山噴火を目の当たりに観察できる絶好の機会と捉え、セントヘレンズ山の調査と噴火に備えて観測機器の設置など万全の準備を整えてその日を待ちました。また、写真家たちも噴火の瞬間を捉えようと今か今かと噴火を待ち望んでいました。

しかし、その噴火は、想定を超える惨事をもたらしたのです。火山学者のデイビッド・ジョンストンは、火口から

10km北に離れた観測地点で、山を観測していました。彼は、火山の側面から上ではなく北に向かって噴火すると予測していました。それにもかかわらず、なぜ、彼は山の北側で、火山を観測していたのでしょうか。当日の朝、彼はUSGS(合衆国地質調査)基地があるバンクーバーに呼びかけて、「バンクーバー、バンクーバー、ついに始まったぞ!」と叫んだが、彼の通信は途切れ、消息は途絶えました。爆風だけでなく山から崩落した土砂は彼が居た地点を越えてさらに北にまで運ばれました。



↑ 2012年のセントヘレンズ山

噴火による地層の変遷

この噴火によって、それまで地質学会の常識とされてきたことがいくつも覆されました。それまでは、進化論の考えに基づいて、地層の堆積も地形の侵食も長い年月がなければ起こらないと信じられていましたが、実際に起こったのは、セントヘレンズ山の噴火に伴って、「地層の堆積と地形の侵食とが短時間で急激に起こった」という事実でした。

このことは、創造論に立つ地質学者が長年主張し続けてきたことを裏付けたのです。

創造論者は、今日の地球の地形の大部分は、創世記に記されているノアの洪水とそれに伴う堆積作用、侵食作用、地殻変動などで形成されたと信じてい

ました。ノアの洪水後に激変が起こって局地的に地形が変化することはもちろんあったでしょうが、化石のほとんどが出来たのも地層の大部分が形成されたのもノアの洪水が起こったからだと考えていたのです。

水蒸気爆発に伴って深さ40mもある巨大クレーターが出現し、火砕流や泥流が、硬い岩盤をも削り取って峡谷を造り出すなど、大激変に伴う地形の変遷は、世界中にみられるさまざまな地形と同様の地形を現出させました。

注目すべきことは、それが瞬く間に起こったという事実です。進化論で必要不可欠な何億年という歳月が存在した証拠として挙げられてきた地形や地層の存在は、進化論の証拠ではなく、創世記の記述通りに地球全体を覆った大洪水があった証拠であることが裏付けられたからです。

イザヤ書では、創造主が「不思議なこと、驚き怪しむべきことをする。この民の知恵ある者の知恵は滅び、悟りある者の悟りは隠される。」と述べています。世界中で信じられていた長い年月がなければ今日の地球の姿はできないという進化論に基づく地質学の根拠は失われ、聖書に基づく地質学の根拠が裏付けられたからです。

創造論の重要性は、このような創造の証拠、創造主の御業の証拠を証することを通して、一人でも多くの人が創造主の存在を受け入れ、聖書に目を向けることです。

創造論探査ツアー

7月1日の朝、タコマ市を出発し、セントヘレンズ山の東側へ向かいまし



↑ 2006年のセントヘレンズ山

た。スピリット湖へ向かうつもりでしたが、途中土砂崩れで道路が通行止めになっており、断念せざるを得ませんでした。その近くの野原で共に礼拝を主に捧げました。

その野原で見つけた「つくし」は日

本のつくしとは比べ物にならないくらい巨大で、長さが40センチ以上はあったと思います。種類に従って造られた創造主の御業を感じることができました。

ツアーガイドのパク・チャンソン博士が機転を利かせ予定を変更して、

レーニア山（標高4392m）の中腹にあるジャクソン・ビジターセンター（標高1647m）を訪れることができました。

ビジターセンターから少し登ったところには、直接氷河を見られる場所がありますが、7月だというのに雪が多く、登ることはあきらめました。ひと時、雪景色と雄大な景色を楽しむことができました（1ページの写真参照）。また、途中氷河でできた地形も見ることができました。前日のグランドクーリーに続き、創造主が造られた自然の驚異を目の当たりにしました。

7月2日は、西側からセントヘレンズ山に向かい、ジョンストンリッジ展望台に行きました。ここからは、噴火によって姿を変えてしまったセントヘレンズ山の光景を臨むことができま



← 巨大なつくし

す。2008年に訪れたときと地形も少し変わり、緑も濃くなっていました。クレーターを見ようとしばらく尾根を歩きましたが、緑のために見分けにくくなってしまいました。写真を見るとわかりますが、こんなにも急に地形や光景が変わってしまうものだと言われました。



↑セブンワンダースミュージアム

帰りにセブンワンダースミュージアム(七不思議博物館)を訪れました。ここは、セントヘレンズ山近郊で創造論の立場からセントヘレンズ山の噴火とそれに伴って起こった出来事を説明している唯一の博物館です。牧師を引退して博物館を開いた館長のロイド・アンダーソン師ご夫妻が歓迎してくださり、アンダーソン師の講演は、セントヘレンズ山で起こった出来事を創造論の視点から考える総まとめとなりました。

今回の旅は、あっという間に終わってしまった感があります。参加してくださった方々お一人お一人の人柄にも触れることができ、それぞれの方が創造主のかたちとしてすばらしく造られていることを思わせられました。主を讃美するとともに参加された皆様に心から感謝いたします。数年後、ノアの箱船テーマパークが完成したら、またツアーを企画したいと思っておりますので、みなさまと共に創世記を探訪したいと願っています。

春の青少年向け創造セミナー

3月26日(火) ~ 3月28日(木)
講師/山本哲也 宇佐神実 加藤義人
アクティビティ/カーリングを楽しもう!
軽井沢/SYME

聖書と科学カンファレンス



8月5日(月) ~ 8月7日(水)
秩父の河川敷で化石掘り
科学者が集うカンファレンス
海外講師/パク・チャンソン
国内講師/ジェネシスジャパン講師陣・他
埼玉/梁山泊

←秩父/川底のカニの化石(宇佐神会長撮影)

秋の創造セミナー

10月29日(火) ~ 10月31日(木)
講師/安藤和子
ライブ&音楽指導/鈴木貴則
長野/ホテルグリーンプラザ白馬

創造の視点から知る創造主の素晴らしさ。



DVD 新発売!

創造を信じる科学者や牧師、スペシャリストの貴重な講演をDVDにしました。

キッズセミナーはCSや教会で、楽しく学べます♪

価格 各 1200円
GJ 会員価格 1000円

DVD 「植物に秘められた創造主の叡智：作物学の視点から味わう」(43分)	高橋 清	2012 聖書と科学カンファレンス	講演録
DVD 「福島第一原発の事故について：聖書の視点から考える」(44分)	高橋 清	2012 聖書と科学カンファレンス	講演録
DVD 「葉やサプリメントは健康に役立っているのか？」(49分)	安藤 和子	2012 聖書と科学カンファレンス	講演録
DVD キッズセミナー「人類の起源」人間はどこから来たの？(27分)	新開 宏典	2012 聖書と科学カンファレンス	講演録
DVD キッズセミナー「ノアの大洪水」本当に起こった大激変(27分)	新開 宏典	2012 聖書と科学カンファレンス	講演録